

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 625 号	氏名	Gichuhi Paul Njihia
学位審査委員		主 査	尾野村 治
		副 査	畑山 範
		副 査	田中 正一
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、近年の医薬品構造において重要な骨格であるフッ素置換されたピペリジンやピロリジンをジアステレオ選択的に合成できる反応を開発しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 求電子的あるいは求核的フッ素化と電気化学的な酸化法を鍵反応として活用することで 3 位がフッ素置換された 2-メトキシピペリジンとピロリジンの合成を達成した。種々ルイス酸の存在下、このメトキシ体から発生するイミニウムイオンに対して、いくつかの求核剤を反応させ、ルイス酸や求核剤の収率やジアステレオ選択性に及ぼす影響を精査した。これまでこのような 3 位フッ素基の影響を精査した研究は全くなく、高く評価できる。</p> <p>3 解析・考察の評価 3 位フッ素基のジアステレオ選択性に及ぼす効果はそれほど大きくなかったが、除去可能なエステル基を補助基として用いると高ジアステレオ選択的に 3 位フッ化-2 位置換環状アミン類が得られることがわかった。得られたフッ素化された誘導体は光学活性体であり、より優れた活性を持つ新しい医薬品や農薬の前駆体として応用出来る可能性がある。 以上の点から、これら研究結果と考察内容は高く評価できる。</p> <p>以上のように本論文は医薬品合成化学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（薬学）の学位に値するものと判断した。</p>			